

「隠れ麒麟は、どこに？」西村

コロナ禍で中断していた大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が再開されました。何度も見ているオープニング映像ですが、その中に、隠れ麒麟がいるのをご存知ですか？残念ながら私はまだ見つけられていません。NHKの説明によると、実際に撮影されたリアルな映像の中に、作り物のCG麒麟の一部が、控えめに入っているそうです。麒麟というとキリンビールのロゴをイメージしますが、ロゴの中にも「キ」・「リ」・「ン」の隠し文字が入っています。麒麟は良いことがある前触れとして姿を現し、虫や草を踏まないよう、地に足をつけず空を駆けている心優しい動物とのこと。大河ドラマでは、戦乱の荒廃した世の中が、安寧の世になるよう麒麟が現れるのを待ち焦がれる様子が描かれていますが、令和の今は、新型コロナウイルスが一日も早く終息するようお願いながら、隠れ麒麟を早くみつきたいと思います。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【パレートの法則】

物事の結果の8割は、2割の要素が生み出しているという法則のこと。イタリアの経済学者ヴィルフレド・パレートが提唱し「80対20の法則」「ばらつきの法則」とも呼ばれる。例として「社会全体の所得の8割を全体の2割の高額所得者が占める」「企業の利益の8割は、2割の優秀な社員が生み出している」などビジネスやマーケティングで広く利用されているが、データを緻密に分析するAI時代に合わせて進化が予測される。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【未婚のひとり親控除の見直しについて】

死別や離婚により夫のいない女性を「寡婦(かふ)」、妻のいない男性を「寡夫(かふ)」といいます。2020年度の税制改正により未婚のひとり親に対する寡婦(寡夫)控除の見直しが行われました。従来は離婚や死別であれば寡婦(寡夫)控除が適用されていましたが、未婚の場合は婚姻暦の有無によって控除が異なっていました。また男性のひとり親と女性のひとり親とでは控除額に差がありました。これらを公平にすべく見直しが行われ、2020年分の年末調整から全てのひとり親に適用されます。具体的には婚姻暦や性別にかかわらず、生計を同じとする「総所得金額が48万円以下」の子を持つ「所得金額が500万円以下」のひとり親について「ひとり親控除(35万円)」が適用されます。



子以外の扶養親族を持つひとり親控除に該当しない寡婦については、従前の控除額27万円が適用されますが「500万円以下の所得制限」が設けられました。ただし住民票に事実婚の記載がある場合には控除は受けられません。総括すると、男女を問わず「所得金額が500万円以下」の未婚のひとり親は、新たに35万円の控除が適用されます。また従来は27万円だった寡夫控除は35万円となります。しかし、寡婦控除については所得制限が加わったため所得金額が500万円を超えると27万円の寡婦控除の適用がなくなります。

今を生きる

先人の言葉

困難に立ち向かってこそ
自分の潜在能力に気づく

フランス第18代大統領であるシャルル・ド・ゴールの言葉。同様に「もしもこの世が喜びばかりなら、人は決して勇敢と忍耐を学ばない」とヘレン・ケラーは言った。